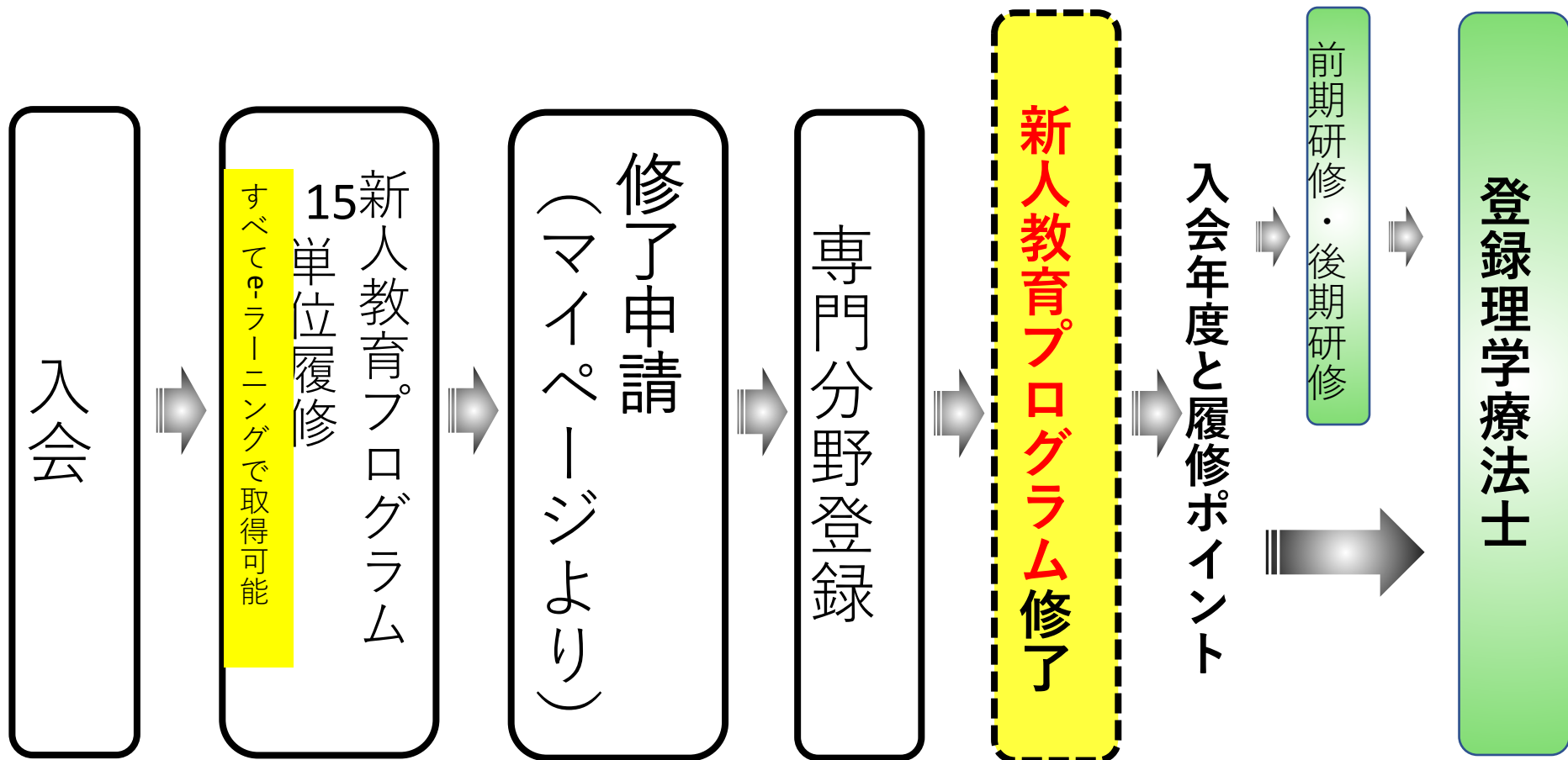


新生涯学習制度

2022年からの新しい制度について

神奈川県理学療法士会
学術局 新人教育部
部長 藤田峰子
(神奈川県立保健福祉大学)

《昨年度までのの生涯学習制度の流れ》



現行生涯学習制度 履修目安：最短1年間（3月末日受講分まで有効）

新生涯学習制度 2022年4月～

《**新**生涯学習制度の流れ》 2022年4月～

生涯学習制度

前期研修

座学：22コマ（33時間）
実地研修：32コマ
（48時間）

履修目安：2年間

後期研修

座学：51コマ（76.5時間）
A:臨床推論
B:臨床疫学
C:領域別研修(疫学)
D:関連領域
E:領域別研修(事例),(育成)
F:最近の知見
実地経験：3年程度(6000時間相当)

履修目安：3年間

登録理学療法士制度（前期・後期研修の修了者）

専門理学療法士

認定理学療法士

5年ごとの更新

5年ごとの更新

5年ごとの更新

新生涯学習制度に移行した背景

- 理学療法士の生涯学習制度の問題点
 1. 1年間と短い期間しか対応していない
 2. 更新制度ではない
 3. 座学主体の研修である

理学療法士の質の低下
更なる高みを目指して

登録理学療法士

- 理学療法士協会から付与される称号
条件

- ① 理学療法士として**5年以上**の実践経験を有する者
- ② 日本理学療法士協会が定めた**150時間以上のカリキュラム**を終了した者



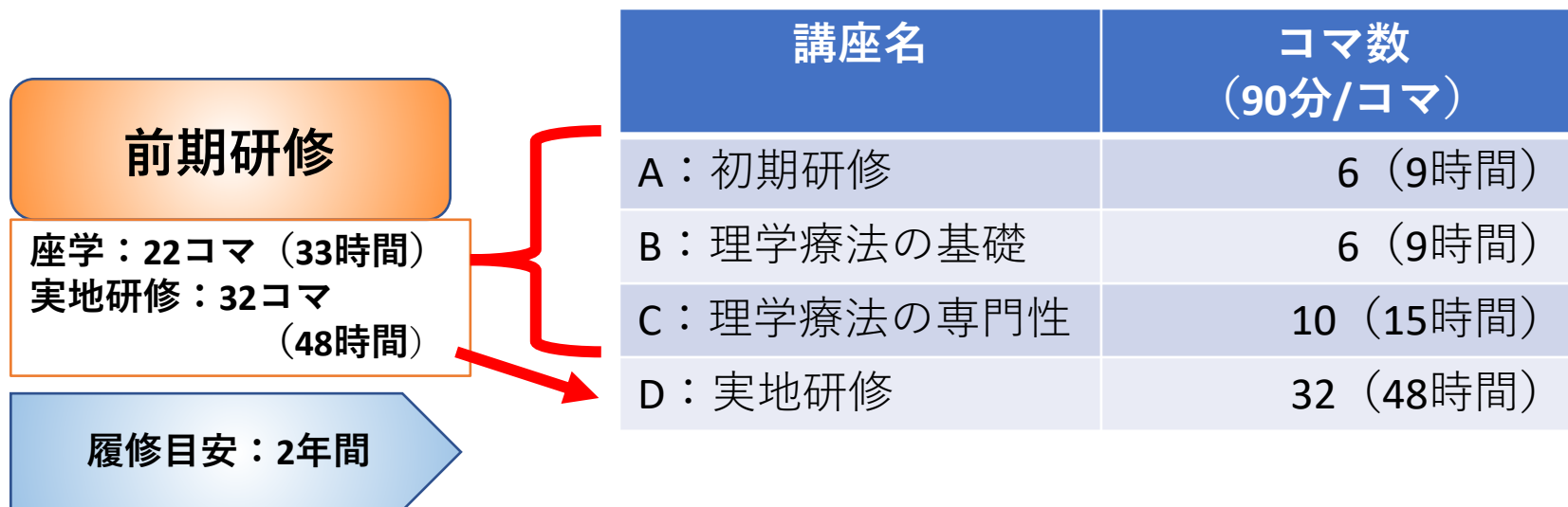
登録理学療法士になる必要がある？

- 理学療法士は、**医療の進歩**に後れをとらないよう**生涯にわたり研鑽**を重ね、知識・技術をUpdateしなくてはならない。
- 登録理学療法士は、生涯学習制度の基盤となるもので、卒後5年間は、多様なニーズ・障害像に対応できる能力を育成し、更新・継続することにより**ジェネラリスト**としての能力を高めなければならない。
- 多様な領域で標準的理学療法を臨床実践できることで、理学療法の質を高め、**社会に対して理学療法士の質を保証**するとともに、**国民の健康・福祉の増進に寄与**する必要がある。

前期研修

到達目標：必要に応じて指導を求め、基礎的理学療法を実践できるレベル

修了要件：A～Dのカリキュラム（54コマ計81時間）



前期研修 カリキュラム

測定目標		必要に応じて指導を求め、基礎的（ベーシック）理学療法を実践できるレベル					
講座名	講義テーマ	コマ（時間）数	修了要件	研修形式	到達目標	学習目標	
A 初期研修	k-1 職業人と倫理	1コマ (1.5時間)	6コマ (9時間)	対面 または オンライン	II-① ・業務を実践するにあたり、理学療法業務が理学療法士協会倫理規定の基本精神と遵守規定の下で実践されていることを理解できる。	・医療・福祉分野で働く職業人としての高い倫理観を身につける。 ・生命倫理、医療倫理、臨床倫理、リハ専門職の倫理、職能団体の倫理、利用者本位、利他主義、責任、敬意、誠実、生涯学習などが技能であることを理解する。 ・理学療法の定義、役割、使命について理解する。	
	k-2 協会組織	1コマ (1.5時間)			II-② ・理学療法士としての心得や職員としての職務ルールの遵守ができる。	・学術職能団体としての日本理学療法士協会の歴史や社会的位置づけを理解する。 ・日本理学療法士協会会員としての自己研鑽や活動の内容を理解する。 ・協会と都道府県理学療法士会およびブロックの位置づけを学習するとともに、他職能団体との違いを理解する。 ・WPT、NPTについて概要を理解する。	
	k-3 人間関係および接遇	1コマ (1.5時間)			I-① ・対象者・家族及びスタッフとコミュニケーションをとることができる。 ・介入に必要な情報を収集し、整理することができる。 ・周囲における自己の存在を意識し、同僚や他の医療人と安定した適切なコミュニケーションをとることができる。	・組織・職場・患者との人間関係を学び、一社会人としての常識（IT、報告・連絡・相談、公私の区別、情報管理など）、医療人としての常識および一般的ふるまい（身だしなみ、挨拶、多職種協働・チーム医療、など）が技能であることを理解する。 ・理学療法士として必要な接遇と医療現場の違いと重要性を理解する。 ・人間関係から生ずる労働衛生上の問題や対立・異議（コンフリクト）、各種ハラスメントについて学び、その予防・解決法を理解する。	
	k-4 理学療法における関連法規	1コマ (1.5時間)			II-③ ・医療法、理学療法士及び作業療法士法に基づいて、理学療法業務ガイドラインに沿って実践を行うことを理解できる。	・理学療法を実践する上で必要な法律、事例について理解する。 ・医療保険法、介護保険法、障害者総合支援法、生活保護、障害医療、障害者年金、福祉六法、などを学習し、診療・介護・障害保険制度を理解する。 ・各種法律、医師の指示・処方の意味と種類、診療の補助行為と療養上の世話・予防介入、などを理解する。	
	k-5 理学療法における情報管理	1コマ (1.5時間)			II-④ ・業務上知り得た個人情報の守秘義務を理解できる。	・理学療法を実践する上で必要な情報を適切に管理する方法を理解する。 ・守秘義務、個人情報管理、情報漏えいリスクヘッジなどが技能であることを理解する。 ・療養担当規則を学習し、診療報酬請求の仕組みやカルテ記載が重要かつ必要なことを理解する。 ・SOAP等を用いたカルテ記載の実態を理解・経験する。さらに、退院・転院・終了時の症例要約および退院・転院時あるいは施設間情報連携の重要性と活用方法を理解する。	
	k-6 生涯学習について	1コマ (1.5時間)			I-② ・協会の定める生涯学習システムに沿って学習できる。 ・問題意識をもち、自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題を明確にできる。 ・課題の解決に向けて必要な情報を収集することができる。	・生涯学習の意味と必要性を理解し、自己のキャリア形成とジェネラリズムが基盤となりそのうえに専門性が成り立っていることを理解する。 ・キャリアデザインの意味を理解し、理学療法士としての自らのキャリアラダーを考える。 ・協会が作成した生涯学習制度の意義と目的を理解し、他職能団体の生涯学習制度との違いを理解する。	
k-7 一次救命処置と基本処置	1コマ (1.5時間)			II-⑤ ・緊急時の対応に際しては適切な対応を講ずることができる。	・一次救命処置の概念と法的概念、心肺蘇生法（CPR）の実施、自動体外式除細動器（AED）の操作方法を学習し、CPRとAEDを組み合わせた一次救命処置を理解する。 ・呼吸器の管理、適切な対応に際しては適切な対応を講ずることができる。理学療法における呼吸の重要性と実施手順を理解する。		

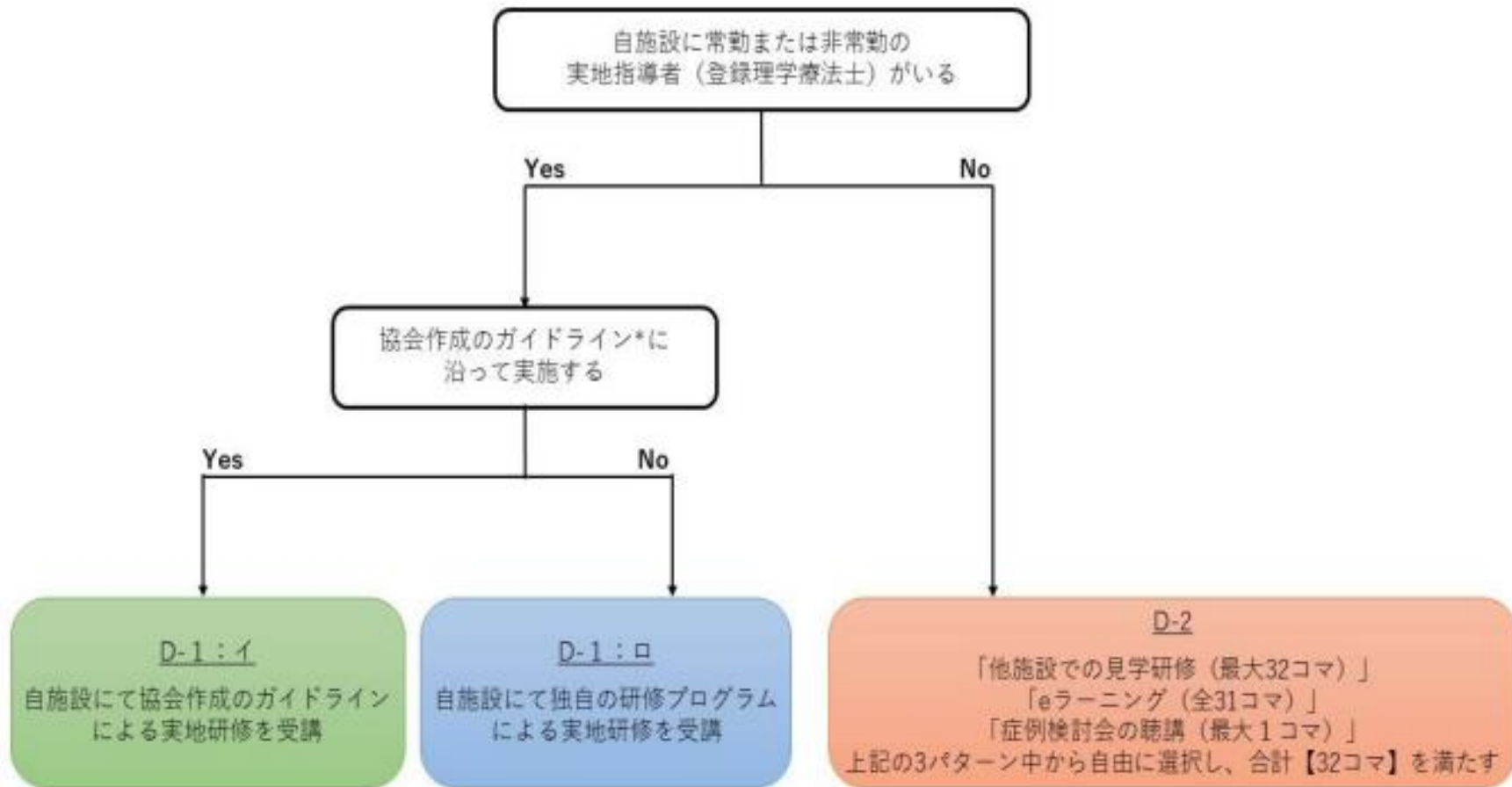
前期研修の受講方法

- マイページから事前登録が必要（受講費：無料（対面・eラーニング・実地研修全て））
- 履修順序は問わない

A～C講座

- (1) 都道府県理学療法士会開催の対面研修会で受講する
 - 各都道府県士会において、前期研修の対面研修会を開催（神奈川県理学療法士会では、令和4年度対面でのA～Cの対面研修会の予定なし）
- (2) eラーニングで受講する
 - パソコン等から講義動画を視聴し、eラーニングで講義を受講
 - 都合の良い時間で学ぶことができる
 - 入会1年目の会員のみ、eラーニングは9月から受講可

実地研修 (OJT)



*ガイドラインとは、「新人理学療法士職員研修ガイドライン」を指す

区分	受講条件	受講方法
D-1：イ	自施設に「常勤または非常勤の <u>実地指導者（登録理学療法士）</u> 」が <u>いる</u> 。 ＋ 本会作成のガイドラインに沿って実地研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●「新人理学療法士職員研修ガイドライン」に沿って、実地研修を受講します。 ●32 コマ（48 時間）で修了です。
D-1：ロ	自施設に「常勤または非常勤の <u>実地指導者（登録理学療法士）</u> 」が <u>いる</u> 。 ＋ 施設独自の研修プログラムが自施設にあり、その研修プログラムで実地研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●自施設独自の研修プログラムにて、実地研修を受講します。 ●32 コマ（48 時間）で修了です。
D-2	自施設に「常勤または非常勤の <u>実地指導者（登録理学療法士）</u> 」が <u>いない</u>	<ul style="list-style-type: none"> ●自施設での実地研修の代替方法として、「他施設での見学研修」「eラーニング」「症例検討会の聴講」から選択し受講します。 ●32 コマで修了です。 ※他施設での見学研修は最小1コマ（1.5時間） ※eラーニングは全31コマで7.5時間相当 ※症例検討会は3回の聴講で1コマ

※本会作成のガイドラインとは「新人理学療法士職員研修ガイドライン」を指します。

詳細は下記 HP をご参照ください。

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/introeduprogram/education_training/

※所属会員に登録理学療法士取得者がいる場合、自動的に「D-1：イ」に分類されます。

※施設の状況により「D-1：イ」ではなく、「D-1：ロ」で実地研修を行う場合、施設会員代表者による施設区分の変更作業が必要です。

前期研修の受講方法

D講座（D-1）

- 自施設での実地研修受講であっても、マイページからの受講申請が必要
- 受講申請→実地研修を開始
- 受講申請前に実地研修を開始した場合も、受講途中または終了後に申請されても、受講は有効
- 開始時期や担当の実地指導者等については、自施設の施設会員代表者に確認して進めてください。

前期研修の受講方法

D講座（D2）

（1）受講条件と受講概要

区分	受講条件	受講方法
D-2	自施設に「常勤または非常勤の実地指導者（登録理学療法士）」が <u>いない</u>	<ul style="list-style-type: none"> ●自施設での実地研修の代替方法として、「他施設での見学研修」「eラーニング」「症例検討会の聴講」があります。 ●32コマで修了です。

- ・自施設に実地指導者がおらず実地研修ができない場合に限り、以下の3つの方法にて代替し、実地研修を行います。
- ・3つのいずれか、または組み合わせによって合計32コマを履修します。

【受講例】

例	受講方法			合計
	他施設での見学研修 (最大：32コマ)	eラーニング (最大：31コマ)	症例検討会の聴講 (最大：1コマ)	
例1	32			32
例2	1	31		32
例3		31	1	32
例4	23	8	1	32

※例4に示す内訳の数字はあくまで一例です

① 他施設での見学研修

- 本要件では 32 コマが履修でき、本要件のみで実地研修を修了することも可能
- 見学施設はPT協会で事前に認定した施設のみが対象
- 見学受入施設一覧（PT協会HP）から希望する施設を選択する
- 研修内容、見学可能な日時やコマ数は各施設に委ねられている
- 具体的な研修内容等の詳細が知りたい場合、各施設の見学受入担当者への直接問い合わせすること
- 見学希望申請の前に問い合わせを推奨
- 希望日時と受入可能日時の不一致や施設の状況等により、受入が難しい場合や希望するコマ数を見学研修できない場合もある

② e ラーニング

- 本要件では最大 31 コマが履修可能

(D (実地研修) を修了するためには 32 コマが必要であるため、31 コマ履修した場合、残る 1 コマを「他施設での見学研修」もしくは「症例検討会の聴講」にて履修すること)

- 31 コマの総学習時間は 7.5 時間相当
- 受講順序の指定はありませんが、継続した内容もありますので、順番に視聴されることを推奨
- 各コマの最後には視聴確認のための自己診断テストがあり、正解されたら該当コマは修了となる
- 不正解の場合は再度解答すること
- 解答回数に制限はないので、正解するまでチャレンジすることができる
- コンテンツ内容は現在、検討中

③ 症例検討会（後期研修E）の聴講

- 1 症例 × 聴講 3 回で 1 コマと取り扱う
- 本要件では 1 コマ分が履修可能（※ 6 回聴講されても 1 コマの履修となる）

【留意事項】

- 聴講する**前**に、前期研修「B-5（症例報告・発表の仕方）」の履修が必要
- 未履修のまま聴講されても履修とはみなされない
- 後期研修「E：領域別研修（事例）」として開催される症例検討会の「聴講」が対象で「発表」は対象外となる
- 上記以外として開催される症例検討会は対象外
- 後期研修「E：領域別研修（事例）」は、下記のどちらで聴講しても構わない
 - 「都道府県理学療法士会が主催する症例検討会」
 - 「都道府県理学療法士会が承認した症例検討会」

後期研修

到達目標：多様な領域で標準的（スタンダード）理学療法を臨床実践でき、学生や後輩を指導できるレベル

修了要件：前期研修終了後に受講したA～Fのカリキュラム
(51コマ計76.5時間) + 実地経験3年（在会会員として勤務先登録済みにて36か月）

後期研修

座学：51コマ（76.5時間）

A:臨床推論

B:臨床疫学

C:領域別研修(座学)

D:関連領域

E:領域別研修(事例),(育成)

F:最近の知見

実地経験：3年程度(6000時間相当)

履修目安：3年間

講座名	コマ数 (90分/コマ)
A：臨床推論	4（6時間）
B：臨床疫学（演習）	4（6時間）
C：領域別研修（疫学）	19（28.5時間）
D：関連領域	5（7.5時間）
E：領域別研修（事例）	6（9時間）
E：領域別研修（育成）	5（7.5時間）
F：最近の知見	8（15時間）

後期研修 カリキュラム

多様な領域で標準的（スタンダード）理学療法を臨床実践でき、学生や後輩を指導できるレベル							
到達目標	講義テーマ	コマ（時間）数	修了要件	研修形式	eラーニング講師	到達目標	学習目標
A 臨床推論	A-1 理学療法診断学①	1コマ (1.5時間)	4コマ (6時間)	対面 または eラーニング	間瀬 教史 氏【理学療法士】 (所属：甲南女子大学)	II-⑤ 1.対象者の疾患・障害を理解し、医学モデル及び社会モデルの統合モデルとして、障害の把握・問題点を整理し、指導ができる。 II-⑧ 1.疾患・病態を理解し、介入前の全身状態を把握してリスク管理ができ、指導ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・いかなる疾患・障害を呈する対象者に対するフィジカルアセスメント（問診・視診・聴診・触診）、バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数など）、意識レベルの評価とその意味を説明・指導できる。また、そこから身体機能の状態が臨床推論できる。 ・各種モニターの意味と使用方法を説明・指導できる。また、そこから身体機能の状態が臨床推論できる。 ・症候群（意識低下、けいれん、失神、めまい、呼吸困難、胸痛、動悸、急性肺障害・急性呼吸促進症候群、嘔気・嘔吐、腹痛、頭痛、咽頭痛、腰背部痛、全身性炎症反応症候群など）について学習し、そこから身体機能の状態が臨床推論できる。 ・上記のような医療安全管理の重要性と導かれる身体機能の状態の臨床推論が習熟し、適用・誤用および廃用を誘発しない理学療法管理について説明・指導できる。
	A-2 理学療法診断学②	1コマ (1.5時間)			高橋 哲也 氏【理学療法士】 (所属：順天堂大学)		<ul style="list-style-type: none"> ・血液・生化学検査の意味を正しく理解し、身体機能の状態を臨床推論できる。さらに、運動・活動を含む理学療法を実施するうえで考慮すべき検査所見を説明・指導できる。 ・血行障害（虚血、充血、うっ血、出血）の違いとそれぞれの病因・病態、血栓症・塞栓症・梗塞の病因・病態、低酸素血症および高炭酸ガス血症の病因・病態について正しく理解し、身体機能の状態を臨床推論できる。さらに、運動・活動を含む理学療法を実施するうえで考慮すべき検査所見とフィジカルアセスメントを説明・指導できる。 ・各種生理検査の意味を正しく理解し、身体機能の状態を臨床推論できる。さらに、運動・活動を含む理学療法を実施するうえで考慮すべき検査所見を説明・指導できる。 ・上記のような医療安全管理の重要性と導かれる身体機能の状態の臨床推論が習熟し、適用・誤用および廃用を誘発しない理学療法管理について説明・指導できる。
	A-3 画像診断学	2コマ (3時間)			平泉 裕 氏【医師】 (所属：成城リハケア病院) 市川 博雄 氏【医師】 (所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院) 磯 良崇 氏【医師】 (昭和大学藤が丘病院) 楳野 英胤 氏【医師】 (所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)		<ul style="list-style-type: none"> ・レントゲン画像、CT、MRI 画像、超音波（エコー）画像、造影検査、心電図波形、筋電図波形を正しく理解し、理学療法実施上の留意点、特に運動・活動に際する影響について説明できる。また、そこから身体機能の状態が臨床推論できる。 ・脳画像（CT像、MRI像）については、脳の機能解剖、局在性について、必要な解剖学的知識を正しく理解し、そこから身体機能の状態や機能予後が臨床推論できる。 ・運動器系疾患についての四肢・体幹のX線像、CT像、MRI像等から、必要な機能解剖ならびに構造的特徴に関する知識を正しく理解し、身体機能の状態や機能予後が臨床推論できる。 ・胸部X線所見や心エコー所見等の読影から、必要な機能解剖ならびに構造的特徴に関する知識を正しく理解し、身体機能の状態や機能予後が臨床推論できる。 ・上記のような各種病態に対する明確な画像所見を学習し、適用・誤用および廃用を誘発しない理学療法管理について理解する。

講義名	講義テーマ	コマ（時間）数	修了要件	研修形式	eラーニング講師	到達目標	学習目標
B-1	臨床疫学Ⅰ、Ⅱ	2コマ (3時間)			藤野 善久 氏【医師】 (所属：産業医科大学)	I-② ・自己のめざす方向性・理学療法観の確立に向けて、継続的に職場外での教育活動や学会に参加できる。 ・学習成果を後輩・同僚に伝達すると共に、理学療法実践に活用できる。 ・理学療法の実践・開発・工夫に向けて取組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床疫学研究のテーマは、日常臨床の中に潜んでいる。Clinical practice から research question を紡ぎ出し、研究仮説を立て、適切なデザインを構築し、利用可能なデータから意味のある分析結果を出し、臨床的に妥当な解釈を行う。医学におけるこれら一連のプロセスを遂行するために不可欠となる臨床疫学の理論、基礎知識および実践的な方法論（EDMと診療ガイドライン、臨床診断、臨床予測、コホート研究/症例対照研究/自己対照研究デザイン、ランダム化比較試験(RCT)、ヘルスサービスマネジメント）を理解し、理学療法への活用を学習する。 ・疫学研究ならびに公衆衛生活動を実際に行うための必須の知識と技術、考え方を学習し、地域・職域など、社会（生活環境下）で実施する疫学研究の理論と方法についての基本を理解する。この種の疫学研究を実施・実践する際や利用する際に考慮すべき点を理解し、その具体的な方法と技術について理学療法への応用を学習する。 ・主に予防保健と疫学の関連、疫学的思考、疫学研究論文の読み方、疫学研究のデザイン、測定調査の種類と対策、疾患からみた疫学研究、生活要因からみた疫学研究、保健業務（特定保健指導等）における疫学研究の考え方と方法、保健業務や疾病予防活動への研究成果の利用方法、を深く学習する。

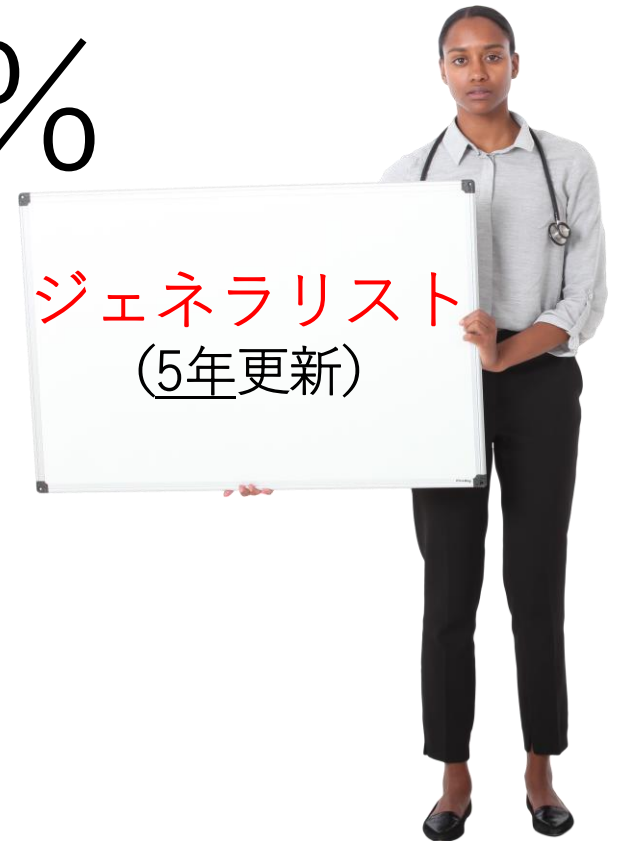
後期研修の受講方法

- マイページから事前登録が必要（有料）
- 1コマ@300円
- セット価格@2,000円（含まれる講義（合計29コマ））
B：全て（4コマ）、C-5：5コマ、D：全て（5コマ）、E-4～6：5コマ、
F：全て（10コマ）
- セット価格はeラーニングのみに設定された価格（対面の場合は異なる）
- A、C-1～C-4はセットには含まれない
- E-1～E-3は症例検討会は無料
- 対面研修（都道府県理学療法士士会主催）：1コマ@300円
- 履修順序は問わない
- E-1～E-3の症例検討会（士会承認症例検討会）は、座長（**登録理学療法士**）による**事前**申請が必要

登録理学療法士取得率

100%

ジェネラリスト
(5年更新)



新生涯学習制度のイメージ(全体)

- ・幅広い総合的な生涯学習(登録理学療法士の更新)を基盤とした認定および専門理学療法士の資格を付与する制度とする。
- ・様々な領域に従事する会員が持続可能な生涯学習制度とし、働き方に応じた多様性と深化の動機づけとなるキャリア開発プログラムとする。

専門理学療法士制度

専門理学療法士

5年ごとの更新制

認定理学療法士制度

認定理学療法士

5年ごとの更新制

登録理学療法士制度

前期研修

座学:22コマ(33時間)
実地研修:32コマ(48時間)

後期研修

座学:51コマ(76.5時間)
A:臨床推論
B:臨床疫学(演習)
C:領域別研修(座学)
D:関連領域
E:領域別研修(事例)、(育成)
F:最近の知見
実地経験:3年(36か月)

(前期研修後期研修の修了)
登録理学療法士

5年ごとの更新制

登録理学療法士

最短履修期間:2年間

最短履修期間:3年間

認定理学療法士・専門理学療法士の考え方

- 認定・専門理学療法士制度構築委員会の答申を踏まえて整理した。
- 階層性ではなく、並列性とする。
- 医療広告ガイドラインを目指すことを一義としない。
- いずれも、より高い専門性を兼ね備えることを目的とする。
- 認定理学療法士は臨床実践分野において秀でている理学療法士とし認定看護師教育を模倣した仕組みとする。
- 専門理学療法士は学問的指向性の高い理学療法士としてリハビリテーション医学会等の専門医制度を模倣した仕組みとする。
- いずれも希少価値の認定資格とし、資格を持っていることに対する価値を上げる設計を構築していく。

認定理学療法士・専門理学療法士の 役割

- ・臨床実践家としてのモデル
- ・当たり前を示し、新規性を見逃さない
- ・学問を実践に結び付ける
- ・ジェネラルと専門性の細分化進化の
同時進行をキャリアパスとしていく
- ・病院内から地域・社会の中での活動を
指向する

認定理学療法士・専門理学療法士

- 登録理学療法士の維持が基本 + **ONE**
- スペシャリストとしての能力開発
- 認定理学療法士：臨床実践分野において秀でた理学療法士
- 専門理学療法士：学問的指向性の高い理学療法士
- 希少価値のある認定資格として位置づけている

新生涯学習制度に関する情報

• 日本理学療法士協会・神奈川県理学療法士会

→HP

→ニュース「JPTA」「KPA」

→ソーシャルメディア

→会員マイページ

(2022年4月19日リニューアル予定)

本日資料した資料・動画

- 登録理学療法士の役割とは？

https://www.youtube.com/watch?v=2KE3kg_ILz0&t=29s

- 前期研修の現地研修って？

<https://www.youtube.com/watch?v=RAjOXZ16Ylg>

- 齊藤理事（会長）に聞く！新生涯学習制度とは？

<https://www.youtube.com/watch?v=3UiOG6lxoaw>

- 新生涯学習制度の情報はどこを見ればいいのか？（参考動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=nnu-dAqD6Uk>

- 前期研修カリキュラム（一覧PDF）

https://support.japanpt.or.jp/upload/privilege/obj/files/education/firstterm_curriculum_200907.pdf

- 新人理学療法士職員研修ガイドライン（初版PDF）

https://www.japanpt.or.jp/assets/pdf/pt/lifelonglearning/introeduprogram/education_training/training_guidelines_201111.pdf

- 後期研修カリキュラム（一覧PDF）

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/e20c5357c1218f9240f7baed5abb9b22_4.pdf